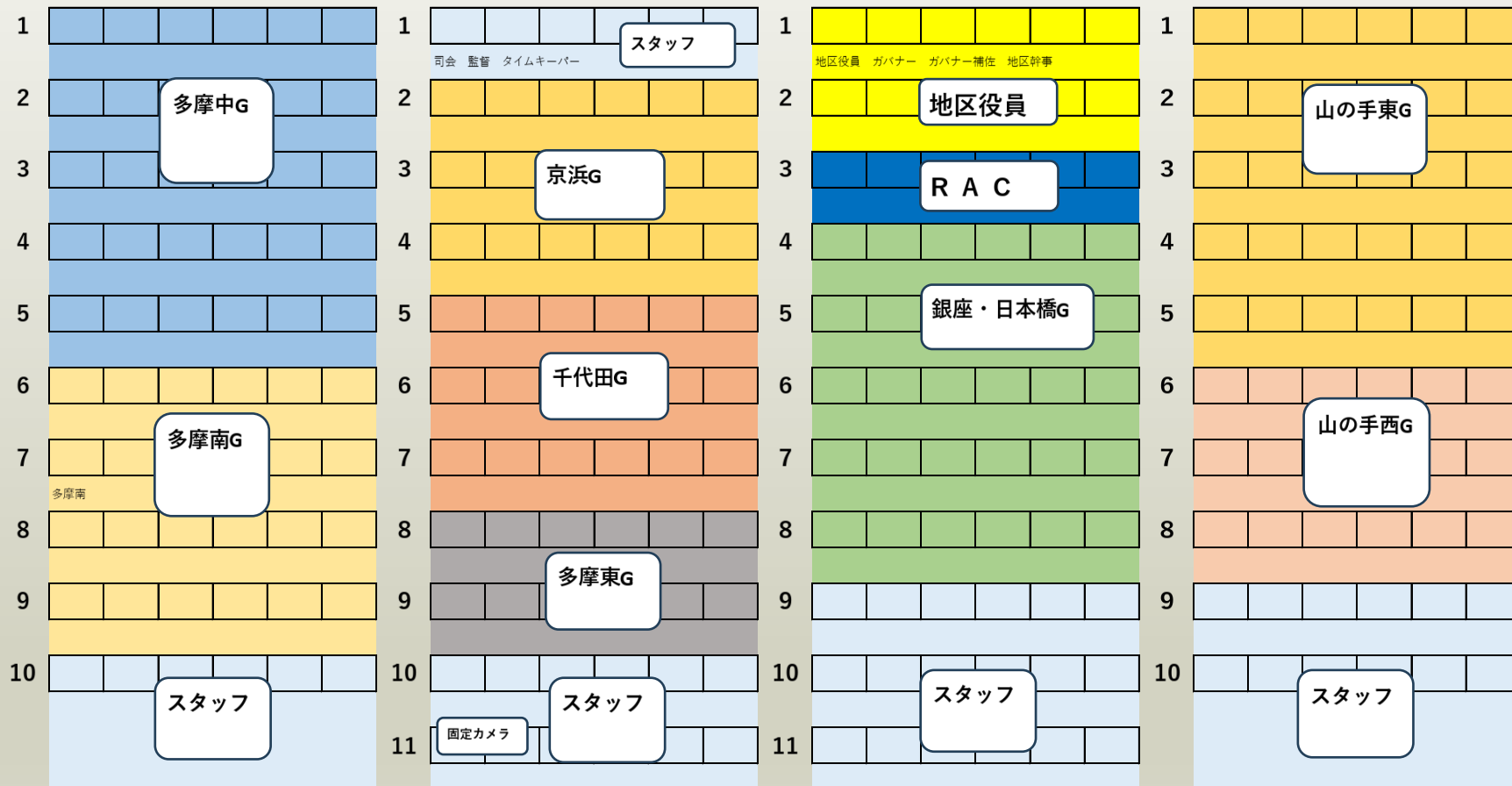


司会

スクリーン

演台

スクリーン



国際ロータリー第2750地区 2026～27年度

補助金管理セミナー



国際ロータリー第2750地区 2026～27年度

補助金管理セミナー

ご挨拶

武藤 英正 ガバナー



「ロータリー財団活動に御理解を」

国際ロータリー第2750地区 2026～2027年度

ロータリー財団委員会

委員長 皆 川 明 良

(東京城西ロータリークラブ)



国際ロータリー第2750地区 2026～2027年度 ロータリー財団委員会

財団委員会の構成

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 資金推進委員会 | (萩 伸雄 委員長) |
| 2. 資金管理委員会 | (大塚 豊嗣 委員長) |
| 3. 補助金委員会 | (勝山 宏則 委員長) |
| 4. 奨学・学友・VTT委員会 | (佐藤 秀樹 委員長) |
| 5. ポリオプラス委員会 | (尾関 勇 委員長) |
| 6. ロータリー平和フェロースhip委員会 | (蓮見 雅則 委員長) |

国際ロータリー第2750地区 2026～2027年度 ロータリー財団委員会

1.資金推進委員会のポイント

- ・年次基金・恒久基金・ポリオプラスなどの寄付
- ・財団への寄付目標の理解
- ・寄付3年後の各クラブへの補助金還元の理解

2.資金管理委員会のポイント

- ・MOUの提出
(Memorandum of Understanding)
- ・申請・報告の遵守

国際ロータリー第2750地区 2026～2027年度 ロータリー財団委員会

3. 補助金委員会のポイント

- ・地区補助金(DG)、グローバル補助金(GG) の受付管理
- ・支給条件と補助金対象活動の理解

4. 奨学・学友・VTT委員会のポイント

- ・GGを利用した奨学生の募集・選考・留学支援
- ・帰国した奨学生の学友会のサポート
- ・VTT(職業研修チーム)の派遣

(Vocational Training Team)

国際ロータリー第2750地区 2026～2027年度 ロータリー財団委員会

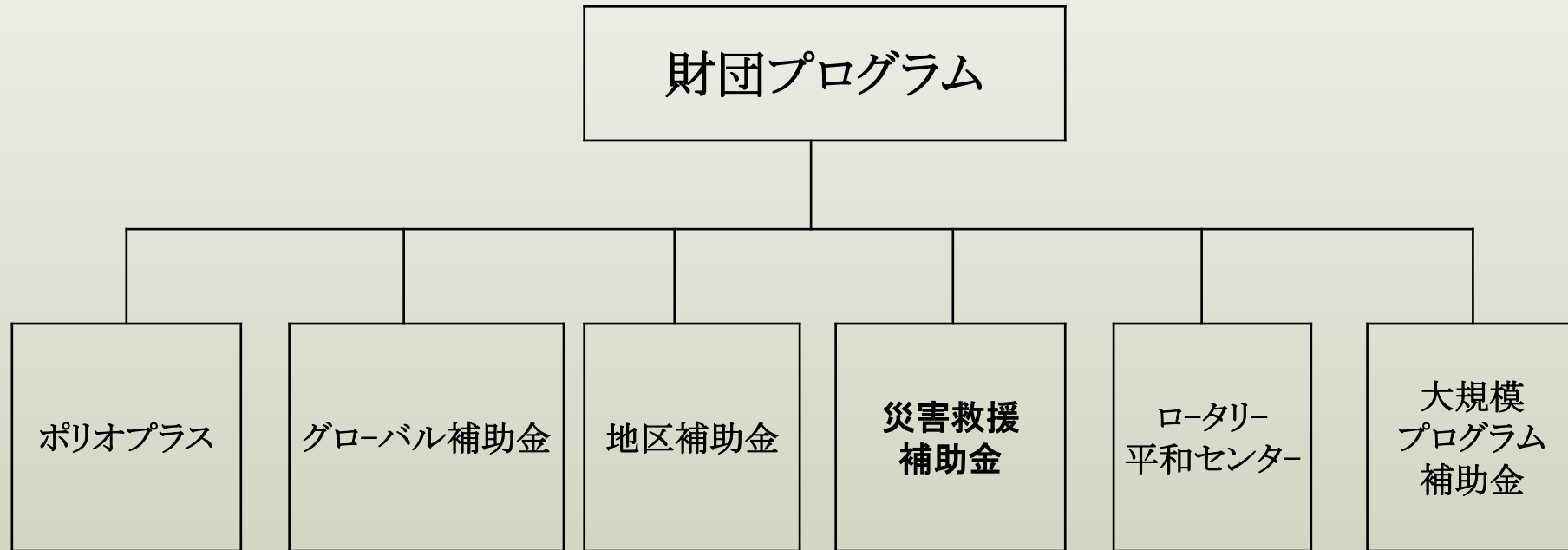
5. ポリオプラス委員会のポイント

- ・ポリオ根絶の広報
- ・ポリオディの理解と開催
- ・ポリオ基金への寄付 (Polio Plus Society PPS)
 - ・・毎年100ドルの寄付誓約

6. ロータリー平和フェローシップ委員会のポイント

- ・平和、紛争解決分野の専門能力の習得を目指す
学生への支援 (国際基督教大学 ICU)
- ・地区からのDDF寄贈の資金でまかなう

ロータリー財団の基本的なプログラム



※ 青少年交換留学生、インターアクト、ローターアクト、RYLA、
米山奨学生等は、ロータリー財団のプログラムではありません。

ポリオプラスプログラム



ポリオとは

- ・正式名称「急性灰白髄炎」、一般名「脊髄性小児麻痺」
- ・ポリオウイルスによって、人から人へのみ感染する。
- ・ウイルスには自然界に存在する野生株ウイルスと人工的に作られたワクチン株ウイルスがある。
- ・手足が麻痺、筋肉が萎縮して極端に細くなる。
呼吸筋が侵され自発呼吸が出来なくなる事もある。
- ・治療法はなくワクチンによる予防のみが有効。

・・・1985年よりロータリーがポリオ根絶
のためのプログラムの開始

補助金プログラム



地区補助金



グローバル補助金

- **地区補助金**や**グローバル補助金**を利用して人道的プログラム、教育的プログラム、環境プログラムなどが行われる。

この2つの補助金が私たちの最も身近な補助金である。

…今年度より大幅な支給基準の内容変更をします

- **大規模プログラム補助金**とは、既に成果を挙げているより大きく長期的な活動を支援するものである。
(ザンビアでのマラリアに関する活動)



大規模プログラム補助金



災害救援補助金

- **災害救援補助金**とは、自然災害や紛争により被災した地域における救援及び復興活動を支援するものである。

ロータリーの7つの重点分野



- ◆ 平和構築と紛争予防
- ◆ 疾病予防と治療
- ◆ 水と衛生
- ◆ 母子の健康
- ◆ 基本的教育と識字率向上
- ◆ 地域社会の経済発展
- ◆ 環境

災害救援補助金



ウクライナ救援基金

パキスタン洪水救援基金

トルコ・シリア災害救援基金

- ・現地で水、食料、医療品、衣類などを
難民や被災された方々へ提供するため
に使用されます。
- ・通常の年次基金への寄付と同じように
ポールハリスフェローの認証の対象に
なりますし、税制上の優遇措置を受け
ることも出来ます。

奨学・学友・VTT

- ロータリー奨学生：

1947年ロータリー財団最初のプログラムとして発足

- VTT (Vocational Training Team)：

職業研修チーム 2010年に発足

- ロータリー財団学友会：

ロータリー財団のプログラムに参加した経験のある
人々の組織（ロータリーファミリー）

Rotary International District 2750
The Rotary Foundation Scholarship Committee

国際ロータリー 第2750地区 2021年 秋入学対象
ロータリー奨学生募集

ロータリークラブでは、国際社会で活躍を志す、新世代の人たちを応援しています。



留学先は世界160ヵ国の大学院。奨学金給付期間は1年間です。
この制度は、奨学生が海外留学を通じて国際理解と視野に開き、その経験と視野を持って、ロータリーが掲げる6つの重点分野に必要な知識と学力を究め、国際社会で貢献して頂く事を目的としています。

2750地区 ロータリー奨学生 募集 検索

●応募開始 2020年 7月 1日(月)
●応募締切 2020年10月31日(木)
●選考開始 2020年11月14日(土)
●応募資格 ①2750地区内に居住するまたは本拠地があること。
②奨学生の大学院に2021年秋入学の許可を得ていること。
③ロータリークラブの指定する重点分野に関する研究が留学の目的であること。
●制度の詳細および応募方法は、ホームページをご覧ください。
お問い合わせは、最寄りのロータリークラブまでお願いします。
(上記ホームページをご覧ください。)

国際ロータリー第2750地区
ロータリー財団委員会
奨学学友VTT委員会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒礁芝公園ビル3階
TEL 03-3436-2750
FAX 03-5472-2750



元難民高等弁務官の緒方貞子さんもOBです。



宇宙飛行士の山崎直子さんもOBです。

ロータリー平和センター プログラム

世界平和と開発の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築く事を目的とした奨学金(平和フェロー)プログラム。

このプログラムは、2002年、ポール・ハリス没後50周年を記念して創設されたポリオ根絶に次ぐ重要なプログラムである。

(当初はロータリーによる平和大学設立構想であった)



ロータリー財団 認証 1/2

認証の分類

- ポール・ハリス・フェロー (Paul Harris Fellow [PHF](#))
年次基金、ポリオプラス他に累計1,000ドル以上寄付した方
- ベネファクター ([Benefactor](#))
恒久基金への寄付または誓約額1,000ドル以上の方
- メジャードナー (Major Donor [MD](#))
累積寄付の合計 1万ドル以上で個人又はご夫妻に対して
- アーチ・クランプ・ソサエティ (Arch Klumph Society [AKS](#))
累積寄付額が25万ドル以上で個人又はご夫妻に対して

ロータリー財団 認証 2/2

認証の分類

- ポール・ハリス・ソサエティ (Paul Harris Society [PHS](#))

年次基金、ポリオプラス、財団承認の補助金プロジェクトに一括でも合計でも毎年1,000ドル以上の支援をした方。

現在、2750地区では259名がメンバーでPHSの晩餐会が毎年開催されます。

- 遺贈友の会 (Bequest Society)

遺産計画で10,000ドル相当以上を恒久基金としてご寄付を誓約された個人又はご夫妻の方

- レガシーソサエティ (Legacy Society)

恒久基金に100万ドル以上の寄付(遺贈)した個人又はご夫妻の方

シェア・システムによって、運用後の寄付は配分

寄付した三年後

WF (World Fund)
国際財団活動資金

グローバル補助金(GG) 他



世界中のロータリークラブで使われる

47.5% 47.5%
シェア

年次基金と恒久基金の収益金
は、この2つの活動資金に
シェアされ、寄付年度の3年
後にいろいろなプロジェクト
に使われます。
5%は財団の管理費。

DDF
(District Designated Fund)
地区財団活動資金

地区補助金(DG)、グローバル補助金の地区負担分、
RI第2750地区ロータリー奨学金、ロータリー平和フェ
ローシップ、ポリオ・プラスへの寄付 他



地区内のロータリークラブで使われる

私たちの寄付が、世界中で使われています。

国際ロータリー第2750地区 寄付の地区目標

① 年次基金への寄付	1人あたり	\$ 150
② ポリオプラス基金への寄付	1人あたり	\$ 30
③ 恒久基金(ベネファクター)		
会員数99名までのクラブは	1名	\$ 1000
100名以上のクラブは	2名以上	\$ 2000

3冠達成 **ガバナー賞！**

なるべく早い時期の
寄付をお願いします

→ 3年後の地区補助金支給額をアップします

ロータリー財団 2024-25年度 6月末 地区別寄付報告 () (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2750	4,495	173.79	781,170.37	190,088.89	135,287.70	23,916.73	1,130,463.69	100%
2760	4,485	165.15	740,719.03	223,305.57	58,556.92	11,420.80	1,034,002.32	104%
日本	81,985	139.68	11,452,023.49	2,865,174.55	2,400,964.43	231,067.15	16,949,229.62	103%
世界	1,134,303	116.69	132,364,236.74	33,487,568.33	46,190,535.48	41,404,594.32	253,446,934.87	

★ 2750地区の寄付額は、日本全体の6.6%にあたり全地区でトップの割合

ロータリー財団 2025-26年度 11月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2750	4,452	91.56	407,611.47	101,030.25	219,286.60	5,330.00	733,258.32	107%
2760	4,516	101.30	457,483.46	147,933.55	28,912.60	3,184.73	637,514.34	100%
日本	81,283	64.21	5,219,327.88	1,331,990.18	934,201.71	70,149.04	7,555,668.81	90%
世界	1,124,681	41.42	46,578,771.44	14,080,001.34	30,706,005.96	10,606,119.63	101,970,898.37	

ロータリーカードの種類と概要

	マスターカード個人		マスター カード	ダイナースクラブ	
	スタンダード / ゴールド		法人	クラブカード / 個人	
デザイン					
年会費	無料	10,000円	3,000円	無料	22,000円
ポリオ根絶 支援資金	利用額	利用額	利用額	利用額	利用額
	0.30%	0.30%	0.50%	0.30%	0.30%
		年会費 3,000円	年会費 1,500円		入会報奨金 5,000円
利用額	2019-20年度 2020-21年度		20億4,600万円 17億 349万円		
ポリオ根絶 活動資金額	2019-20年度 2020-21年度		1,134万円 949万円		

カードの利用例

用途に応じたカード利用

活動費
交通・宿泊
ETC

通信費などの
事務局運営費

例会運営費

地区大会
セミナー施設料



END
POLIO
NOW



人頭分担金

財団寄付金

ロータリー
グッズ購入費

国際大会
登録料

国際ロータリー第2750地区 2025～26年度 ロータリー財団委員会



Doing good in the World ! 世界でよいことをしよう !

ご清聴ありがとうございました。

ロータリー財団委員会の活動全般につきましては、地区のホームページに掲載されております「ロータリー財団ハンドブック」(PDF版)にて説明いたしておりますのでご参照ください。

2026-27年度 補助金管理セミナー 補助金資金の状況と 地区補助金について

補助金委員会 2026-27年度委員長

勝山 宏則(東京品川RC)

現在の問題点と改善策

- ◆ 昨年度はDGが枯渇しました。今年度はDGとGGの両方が枯渇しました。**利用上限額を見直して**、皆さまが利用できるようにいたします。
- ◆ これは**DGとGGの申請数の増加が想定以上**になっているからです。
- ◆ 第2750地区の寄付額は増えてきていますが、円安の影響でドル建ての寄付額が減ってきています。**2021年に発表されたTRFの『資金モデルの変更』により繰越金が5年間までになりました。**
そのために累積の黒字が少なくなり使用できる**資金が減少**しました。
- ◆ DG 地区補助金 District Grant
- ◆ GG グローバル補助金 Global Grant

【資金モデルの変更】

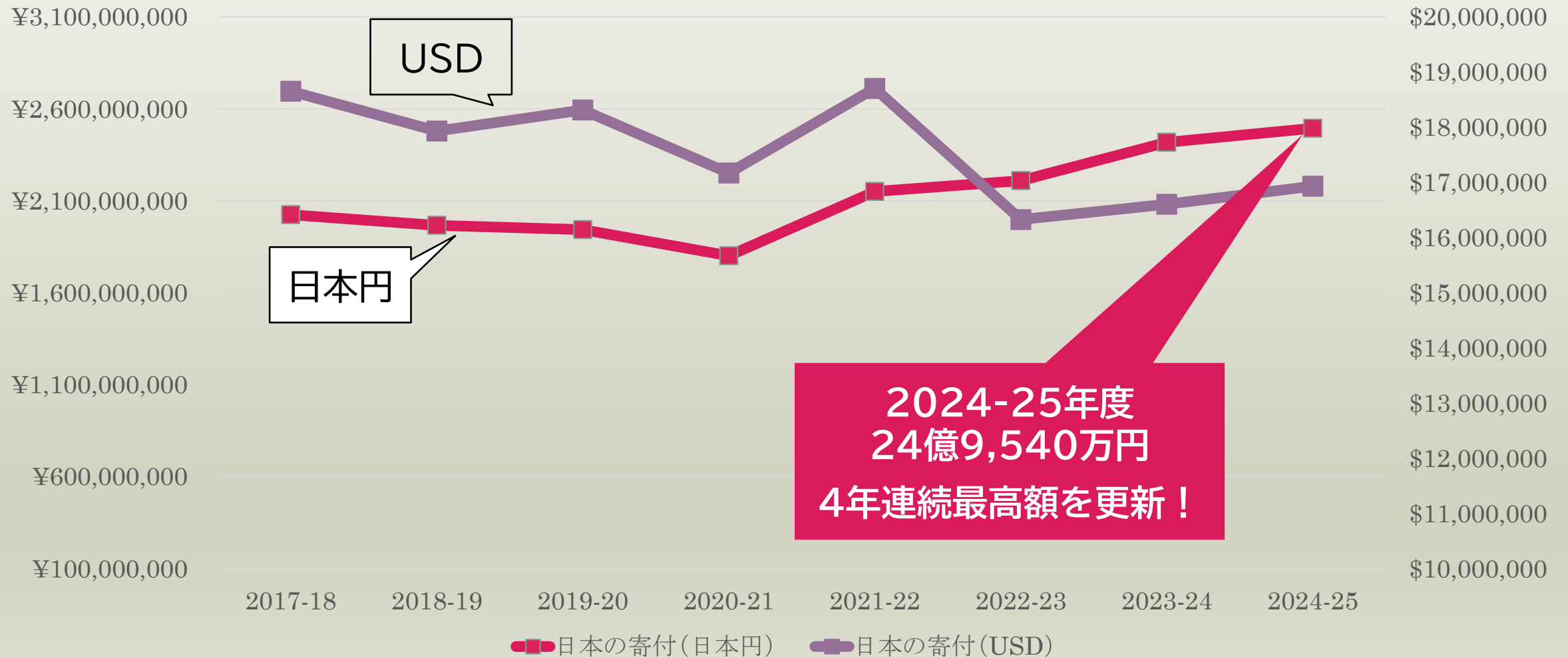
グローバル補助金は、2013-14年度の導入以来、大きな成功を収めてきた。初年度には868件、4,730万ドルの補助金が授与されたのに対し、2019-20年度には1,359件、9,560万ドルにまで増加した。グローバル補助金授与額の増加率が100%を超える一方で、同補助金の主な資金源である年次基金への寄付がこのペースに追いついていない。その結果、グローバル補助金への需要が、利用可能な資金を大きく上回っている。

これに加え、財団は、新型コロナウイルスがもたらした前例のない課題に取り組むため、2020年3月以来、新型コロナウイルス対応のプロジェクトに対し、災害救援補助金として3,200万ドルを授与した。

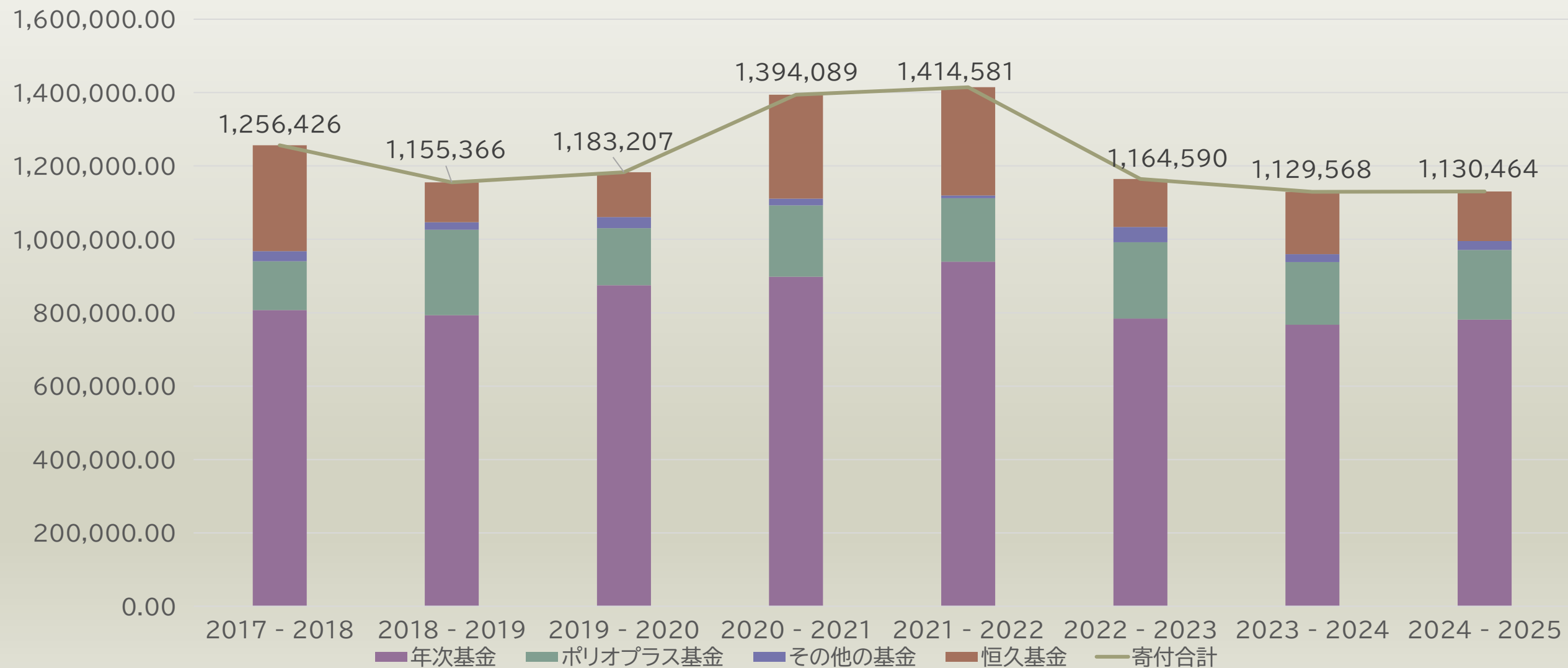
グローバル補助金のために各年に使用可能な国際財団活動資金（WF）の額は、主に年次基金への寄付によって決まる。過去数年間、ロータリー的最優先活動に必要な資金源であるWFは、各年度末を待たずに枯渇しており、結果として、多くの補助金申請に資金が授与できない状況となっている。財団は今年度、グローバル補助金に使用できる資金を増やすため、数々の経費削減策を取った。また、管理委員会とRI理事会は、財団の運営準備金とRI予算剰余から1,500万ドルを国際財団活動資金（WF）に充てた。これにより合計で2,000万ドル近い追加資金が今年度に使用可能となったが、それでも需要に応えるのに十分ではない。管理委員会は、グローバル補助金の需要の高まりから、今年度だけでなく今後も資金不足が生じると予測している。

ロータリー財団は、グローバル補助金における需要と供給のバランスを図ることを目的に、方針上の変更を承認した。

ロータリー財団への寄付 日本の寄付



第2750地区の寄付(USD) 過去8か年

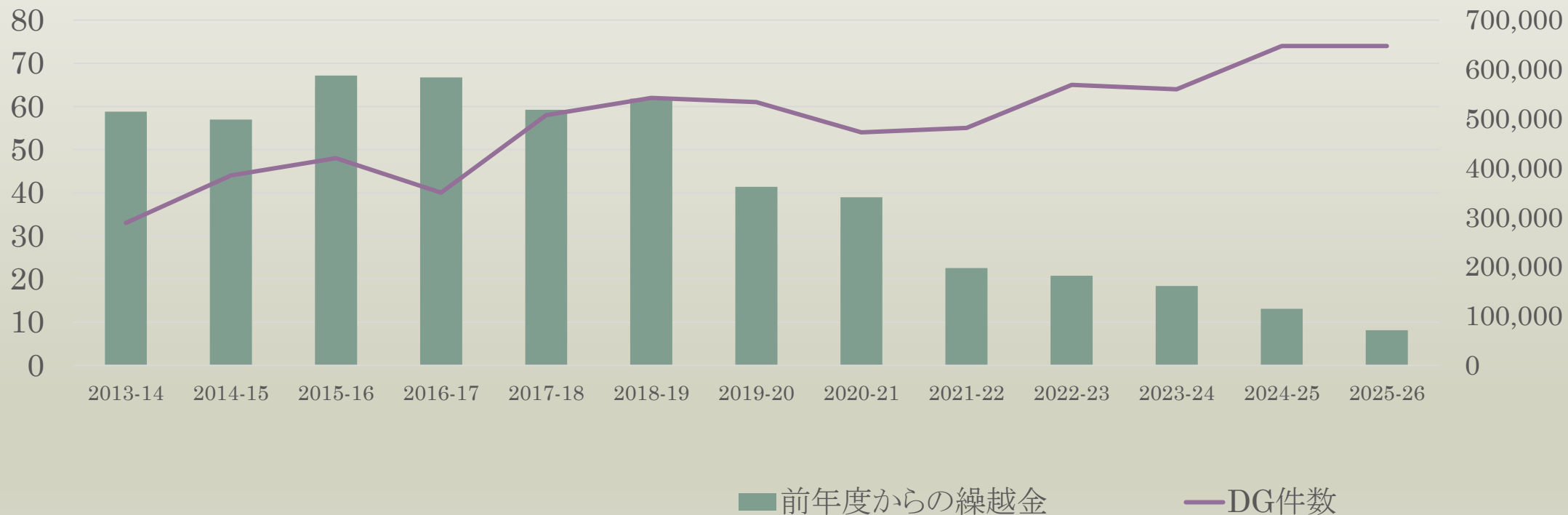


年度別のDG件数と年次基金、繰越金、DDF寄贈額の推移

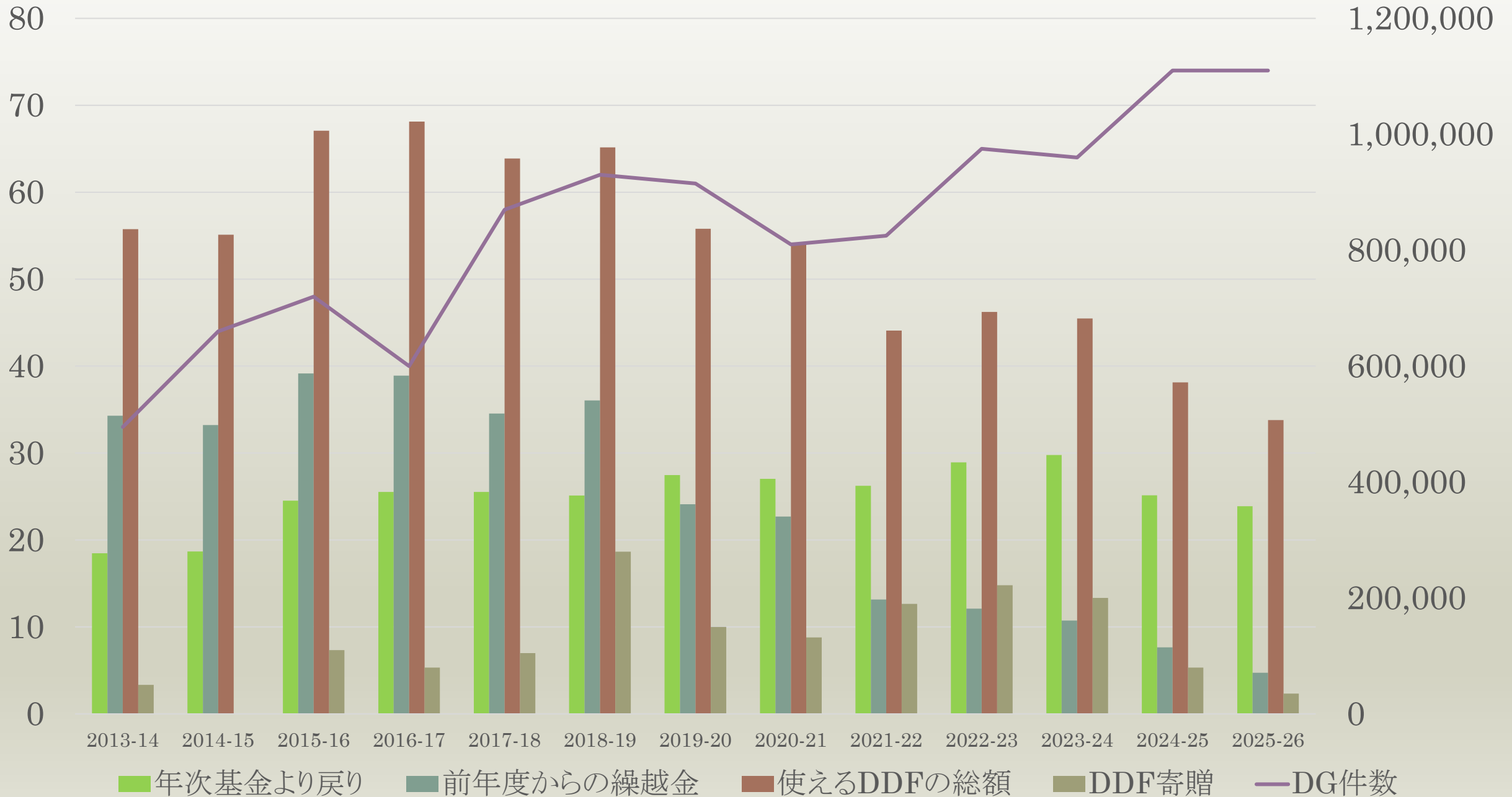
	DG件数	年次基金より戻り	前年度からの繰越金	使えるDDFの総額	DDF寄贈	ガバナー
2013-14	33	277,323	514,552	836,282	50,000	舟木年度
2014-15	44	280,339	498,455	826,572	0	坂本年度
2015-16	48	368,004	587,476	1,006,147	110,000	水野年度
2016-17	40	382,881	583,756	1,021,744	80,000	大槻年度
2017-18	58	383,140	518,087	958,345	105,000	猿渡年度
2018-19	62	376,873	540,794	977,392	280,000	服部年度
2019-20	61	412,146	361,872	836,956	150,000	浅田年度
2020-21	54	405,570	340,661	813,503	132,000	福原年度
2021-22	55	393,737	197,262	661,210	190,000	三浦年度
2022-23	65	434,043	181,712	693,590	222,000	富澤年度
2023-24	64	446,801	161,215	682,395	200,000	宮崎年度
2024-25	74	377,086	114,910	571,904	80,000	伊藤年度
2025-26	74	358,238	71,172	506,833	35,000	田中年度
2026-27						武藤年度

DG件数は増えたがDDF繰越金は減少

DG件数と前年度繰越金(ドル) RID2750



DG件数とDDF総額(ドル) RID2750



次年度からの制度変更

- ◆ 次年度ロータリー財団ハンドブックはPDF版のみになります。
 - ◆ 補助金申請のためのガイドブックを配布します。PDF版も用意。
 - ◆ 地区補助金の上限計算式を変更します。
 - ◆ クラブ拠出金は総予算の30%を必須とします。
 - ◆ DG申請期間は4月1日～5月15日に短縮。
-
- ◆ グローバル補助金はクラブ拠出金の5倍のDDF。
 - ◆ DDF上限は原則として1万5千ドル、大型案件は2万5千ドル。
 - ◆ 協同提唱者の場合のDDF上限は1万ドル。
 - ◆ GGの申請は1クラブにつきプライマリースポンサー1件まで、別に共同提唱者1件まで。ロータリー財団奨学生スポンサーはカウントしません。

クラブ拠出金の取り扱いについて 2026－27年度改訂

予算提出時は事業費 30 万円

補助金 210,000

クラブ拠出金 90,000

総事業費 300,000

クラブ拠出金は 30 %

出費が 40 万円に増大した場合

補助金 210,000

クラブ拠出金 190,000

総事業費 400,000

クラブ拠出金を増額して対応

出費が 25 万円に減少した場合

補助金 175,000

クラブ拠出金 75,000

総事業費 250,000

クラブ拠出金は 30 % を維持
補助金の差額 35,000 円は 100 ドル以上なので、
振込手数料を引いて地区へ返金

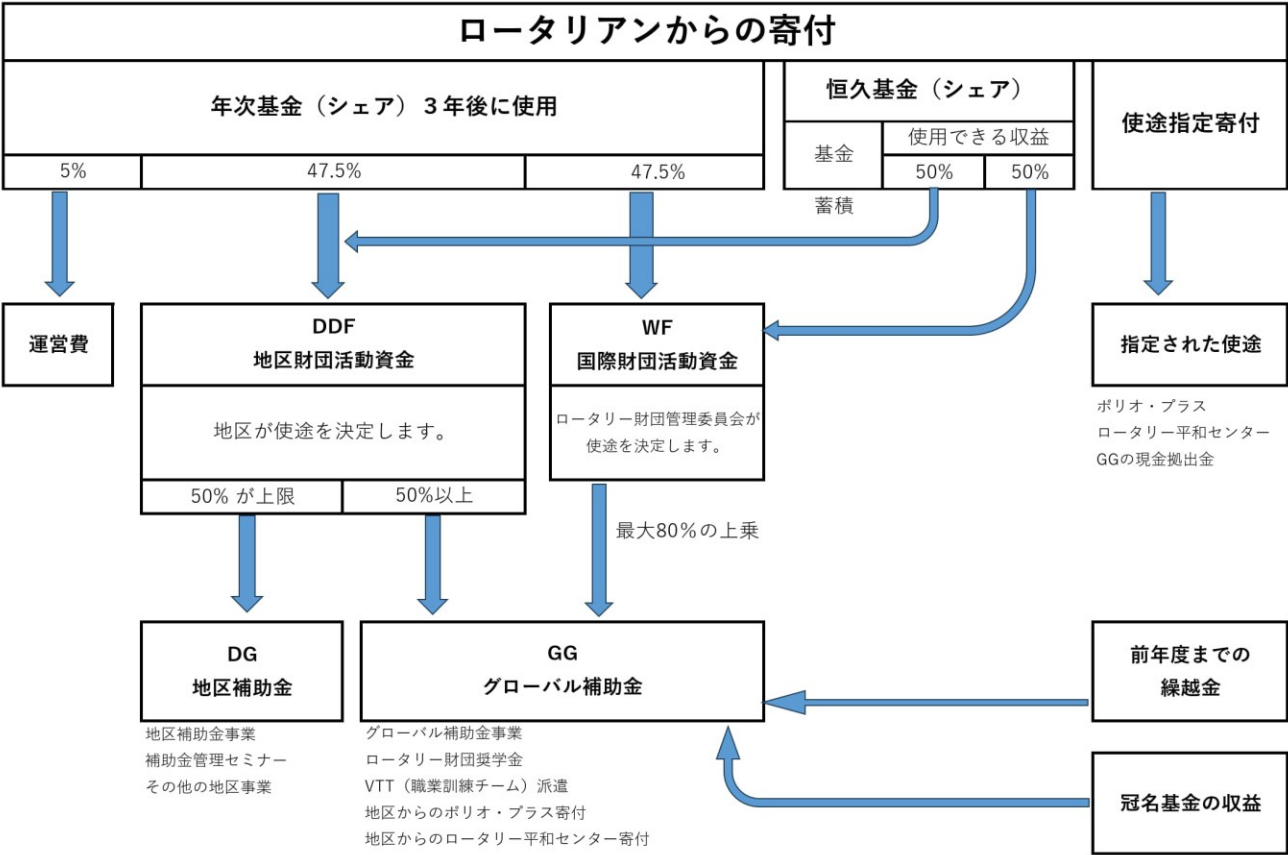
クラブ拠出金は 30 % 以上を維持してください。

シェアシステムによる寄付金の配分

2026年1月作成
RID2750

年次基金（シェア）の寄付は3年間運用され元本部分が47.5%ずつDDFとWFに配分されます。
残りの5%は運営費（寄付推進費と一般管理運営費）になります。
恒久基金（シェア）の使用できる収益は50%ずつDDFとWFに分配されます。
地区が使用できる資金として戻ってくる寄付は年次基金（シェア）と恒久基金（シェア）と冠名基金だけです。

DDF: District Designated Fund WF: World Fund DG: District Grant GG: Global Grant VTT: Vocational Training Team



地区補助金(DG)とは

地域社会、海外でその地域のニーズを満たす
短期のプロジェクト(人道的、教育的、環境保全
等)に使用できる補助金です。



地区補助金のスケジュール

	2024-25年度	2026-27年度
2月2日		補助金管理セミナー
4月1日		補助金受付開始
4月末	プロジェクト終了期限	
5月末	報告書最終締め切り	補助金受付締め切り 5月15日
6月末	2750地区報告書TRFに提出	
		TRFに補助金申請
8月		承認後、プロジェクト開始
		補助金振り込み
2025/4月末		プロジェクト終了
2025/5月末		報告書最終締め切り
2026/6月末		2750地区報告書TRFに提出

ロータリークラブの支給基準

3年前のクラブの寄付実績を元に

- ①一人当たりの年次基金150ドル未満 1000ドル
但し、3年前のクラブ寄付金総額を限度とする
- ②一人当たりの年次基金150ドル以上250ドル未満 2000ドル
一人平均が250ドル以上350ドル未満 2300ドル
一人平均が350ドル以上450ドル未満 2600ドル
一人平均が450ドル以上 2900ドル
- ③3部門達成だと 500ドル上乘せ
- ④年次基金寄付が 20,000ドル以上だと 1000ドル上乘せ
年次基金寄付が 30,000ドル以上だと 1500ドル上乘せ

ローターアクトクラブの支給基準

- | | |
|-------------|--------|
| 1. 3年前の寄付ゼロ | 0ドル |
| 2. 150ドル未達成 | 500ドル |
| 3. 150ドル達成 | 1000ドル |

尚、恒久基金を除きロータリークラブ並みの寄付が行われた場合にはロータリークラブの支給基準に準ずる(会員数10名以上)

新設ロータリークラブ・新設ローターアクトクラブ

ロータリークラブ 1000ドル

ローターアクトクラブ 500ドル

補助金支給の条件と注意点

1. **ロータリアンが積極的、直接的に参加するプロジェクトであること**
(ロータリーのプロジェクトである事が目に見えて識別できること)
2. クラブ拠出金の支出をお願いします。金額は問いません。
3. **プロジェクトの実施は、2025年8月1日以降で、最終実施日は2026年4月30日までとします。**

この期間以外のプロジェクトに関する支払いはできません。

4. 補助金支給金額はあくまでも上限とし、ご自身のクラブが必要とする補助金申請をお願いします。
5. 報道機関、クラブ会報、Webサイト等でプロジェクトを広報してください。
6. 補助金申請の際はドル申請とします。換算レートは2025年4月のロータリーレートとします。支給は申請時のレートで支給します。

7. プロジェクト終了後1ヶ月以内に最終報告書を提出してください。

8. 「ロータリー財団地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件」
を遵守すること

9. 地区補助金の申請は1クラブ1件とします。但し、クラブ合同プロジェクトで代表クラブではないクラブは、別途他の地区補助金申請が可能となります。

地区補助金事業の制約事項

ロータリー財団が定めたルールにより、以下の目的には地区補助金が適用されません。
詳しくは「ロータリー財団地区補助金の授与と受託の条件」をご覧ください。
授与と受託の条件を超えない範囲で、地区独自の裁量において、適合範囲を決めています。

1. **特定の受益者、団体、地域社会に対する継続的または過度の支援**
※同一プロジェクトあるいは、同一受益者に2年続けて実施することはできません。
2. 土地及び建物の購入
3. **募金活動**（募金活動が付随しても良いが、募金活動に補助金の使用は不可）。
4. 地区大会、創立記念式典などのロータリー行事に関連する経費
5. 人道的活動または教育的活動に直接関連していない広報
6. 1,000ドルを超えるプロジェクトの標識（ロータリーの盾、ロゴ、ステッカー、看板等）
7. **他団体の運営費、管理費、間接プログラム経費**
8. **受益者からの金銭の受領**

9. 受益者や協力団体への使途無指定の現金寄付

→使途指定の現金寄付を行った場合は協力団体の情報、購入品や設置場所の写真、購入した全ての品の領収書と請求書のコピーを添付した協力団体からのロータリークラブ宛の領収書が必要

10. 既に進行中または完了した活動と経費

11. ロータリアン、ロータリークラブ、ロータリー関係組織、ロータリーの職員、更にこれらの全ての者の配偶者・直系卑属・直系卑属の配偶者、直系尊属に直接利益をもたらすこと

青少年交換学生を支援するプロジェクトを計画する場合の留意点

1. 補助金の対象となる費用 → 青少年交換学生の経費(国内旅行、活動費、学用品費等)
2. 補助金の認められない経費 → 青少年交換学生の生活費(食費、小遣い等)、引率するロータリアンの経費、ホストファミリーに対する支払

※尚、2750地区では独自のルールとして、RYLAに対する補助金は適用できない事としています。インターアクトの奉仕プロジェクトのための補助金申請はスポンサークラブの申請となります

プロジェクト開始前のご留意事項

1. 補助金専用口座の確認

- ①プロジェクト専用口座をお使いください。
- ②補助金利用プロジェクトに関わるすべての入出金を専用口座にて行ってください。
- ③専用口座は、0にしてプロジェクトを開始し、終了時には0にしてご報告ください。
- ④補助金入金前にプロジェクトを開始されるクラブは、専用口座にクラブ拠出金及び必要であれば補助金相当額を入金いただき、プロジェクト終了時に、専用口座から補助金該当額をお戻しください。
専用口座からすべての出し入れが記録されることが重要です。

プロジェクト開始前のご留意事項

2. その他の事項

- ①他団体との共催の場合、他団体の広告や他団体が継続して使うものの購入、他団体の運営費に充当することのないようにしてください。
- ②プロジェクトの受益者およびプロジェクトに関する支払先にロータリアン、ロータリアン関係者、家族、所属する会社等が含まれないようにしてください。

プロジェクト実行中のご留意事項

1. 申請時と実行時の大幅なプロジェクト内容の変更について

申請時と実行時、報告時でプロジェクトの内容の大幅な変更はできません。

大幅な内容の変更があった場合は、基本的に返金処理になります。

地区補助金委員会及び地区資金管理委員会が、やむを得ない変更と認める場合もありますので、変更可能性が判明した時点で、必ず補助金委員会にご相談ください。

※予算の変更、受益者の変更、支払先の変更、実施場所の変更
申請にない物品の購入 等

プロジェクト実行中のご留意事項

2. 予算の変更について

- ①当初計画より支出額が大きくなった場合
不足額をクラブ拠出金にて対応してください。
- ②支出額が少なくなった場合
 - ・クラブ拠出金の減額
 - ・クラブ拠出金を0にしてもまだ残金がある場合
残金が100ドル以上 余った金額全額を返金
残金が100ドル未満 クラブニコニコへ

いずれも事前に補助金委員にご相談ください。

プロジェクト実行中のご留意事項

3. 寄贈品について

寄贈品には、可能な限り「ロータリー徽章」
及び「ロータリークラブの名前」を明記ください。

例) プレート、シール、立て札 等

※これらは、オクトンでも注文できますが、ロゴマークは、My Rotary からダウンロードしてお使いいただいても結構です。使い方については、公共イメージ委員会より指針がありますので、お問合せください。

※上記については、すべて合わせて上限 \$ 1,000 までとなります。

プロジェクト実行中のご留意事項

4. 海外でのプロジェクトについて

地区補助金、グローバル補助金に関わらず、すべての補助金プログラムは、クラブが主体（主催）あるいは共催のプロジェクトである必要があります。「共催」は名前だけでなく、プロジェクトの立案、計画、実行のすべてに深く関わることを言います。

コロナ下において、海外でのプロジェクトの場合、主体となって、あるいは共催としてプロジェクトに深く関わるのが、実行中に難しくなることがありました。このことに十分ご留意いただいてプロジェクトを成功に導いてください。

考えられる事例

- ①実際の実行は、現地の団体や企業に任せており、運営自体、把握できない
- ②自国ではないので、現地の様子が全くわからず、自らが管理できない
- ③現地の団体や企業を管理しきれず、実行内容が大幅に変更になった
- ④寄贈する予定のものが入手できず、別のものを寄贈した。
- ⑤現地が予算として考えていて、ある物品が安くなったため、他のものを購入した 注1)
- ⑥予算として考えていたため、あるものを安く購入し、別のものを高額なものに変更した 注2)

※注1)、注2)に関しては、海外に限らず、日本国内でも問題になることがあります。

現地の協力団体への現金寄付にならないようご注意ください。

報告時のご留意事項

1. クラブが主体となって、プロジェクトを実行した証明について

すべての補助金プログラムは、クラブが主体(主催)あるいは共催のプロジェクトである必要があります。「共催」は名前だけでなく、プロジェクトの立案、計画、実行のすべてに深く関わることを言います。

クラブが主体となって行ったことは、報告時の写真や広報資料等で判断できます。これらの資料を報告時には必ずご用意ください。

- ・受益者とクラブメンバーの写真(プロジェクト実行時、引き渡し式等)
- ・現場での活動の様子のわかるもの(写真や広報資料)
- ・クラブ名が表示されているプレートやシール等(寄贈品や植栽等)
- ・クラブ宛ての、受益者からの感謝状や手紙
- ・広報資料(クラブのWebページ及びそれ以外の新聞記事等の資料)

報告時のご留意事項

2. 提出期限について

・報告書の提出期限は、プロジェクト終了後、1か月以内です。報告書が完了しないと、新しい年度の補助金申請を承認することができず、新年度のプロジェクトの実行に影響しますので、必ず1か月以内のご提出をお願いいたします。

なお、何らかの理由で遅れる場合、もしくは可能性がある場合は、必ず事前に補助金委員会にご報告、ご相談ください。

オンライン報告書に添付するもの

- ①領収書(銀行振り込みの場合を含むすべての支払い)
- ②プロジェクトに関する写真、新聞記事、Webページ等のプロジェクトの全体がわかる資料
- ③補助金専用口座の表紙と明細のコピー
- ④補助金委員会もしくは資金管理委員会より依頼する各種の書類(必要な場合)

地区補助金委員会と資金管理委員会の裁量範囲について

- ◆ 授与と受託の条件をベースに、その範囲を超えない、かつ地区側で新たに制限を加えています。
 - ・地区独自の裁量においては、各プロジェクトの適合内容の判断は地区の補助金委員会で行っています。
 - ・授与と受託の条件以外では、前年度の内容や問題点により、あるいは他の地区で、本部の監査委員に指摘された情報を入手し、指摘がある前に事前に委員会で範囲を決める場合があります。
 - ・適合、不適合については、常にロータリー財団日本事務局とも連携をとっています。
 - ・授与と受託の条件の記述内容の解釈や判断については、地区の補助金委員会及び資金管理委員会にお任せください。
- ※上記にはハンドブックに掲載されていない内容も含まれることがあります。そのようなケースに該当される場合、担当者からご連絡申し上げます。

授与と受託の条件における 利害の対立について (Conflict of interest)

授与と受託の条件に記載されている「利害の対立」は、ロータリー財団章典に記載されています。

ロータリー関係者に支払うことはできません。

特にご注意くださいこと

- ◆ 1. 前年度と同じプロジェクト、同じ受益者には実施できません
- ◆ 2. 現金寄付又は寄付目的の行事には使用できません
- ◆ 3. 8/1から4/30の期間に実施してください
- ◆ 4. 承認後のプロジェクト内容の変更はできません
- ◆ 5. 補助金専用口座ですべての入出金を行ってください
- ◆ 6. 受益者から金銭を受け取ってはいけません

2026-27年度 担当者紹介

補助金委員会 委員長 副委員長



補助金委員長
勝山 宏則
東京品川RC



補助金副委員長
今村 憲
東京日本橋RC



補助金副委員長
豊福 佐江子
東京愛宕RC



補助金副委員長
高井 信也
東京小金井さくらRC

地区補助金

千代田 銀座・日本橋 京浜 グループ担当者



総括責任者
補助金副委員長
今村 憲
東京日本橋RC



山本 直道
東京サンライズ汐留RC
(GG・PBG担当兼務)



菊地 照巳
東京羽田RC



久保 徹行
東京品川RC



【新任】
神通 豊幸
南RC



【新任】
谷口 友保
赤坂RC

地区補助金

山の手東 山の手西 グループ担当



総括責任者
補助金副委員長
豊福 佐江子
東京愛宕RC



後藤 康之
東京米山友愛RC



山崎 武一郎
東京クロスシティRC



安福 良直
東京山の手RC



【新任】
駒走 裕治
東京西RC



【新任】
吉野 誠一
東京世田谷RC

地区補助金

多摩南 多摩中 多摩東 グループ担当



総括責任者
補助金副委員長
高井 信也
東京小金井さくらRC



輿水 香
東京武蔵国分寺RC



片桐 貴行
東京八王子東RC



矢沢 直樹
東京町田東RC



【新任】
藤田 学
東京町田サルビアRC



【新任】
古川 公士
東京昭島RAC
(ローターアクトクラブ担当兼務)

地区補助金

ローターアクトクラブ パシフィックベイスン グループ担当
グローバル補助金 担当



総括責任者
補助金委員長
勝山 宏則
東京品川RC



GG担当リーダー
後藤 康之
東京米山友愛RC
(GG・PBG担当)



山本 直道
サンライズ汐留RC
(GG・PBG担当)



【新任】
古川 公士
東京昭島RAC
(ローターアクトクラブ担当)

2026-27年度 補助金管理セミナー

地区補助金 オンライン申請の手順について

補助金副委員長 高井信也 東京小金井さくらRC

2026年2月2日



第2750地区ウェブサイトが新しくなりました！

The screenshot shows the homepage of the Rotary District 2750 website. The header includes the Rotary logo, the district name '第2750地区', and a navigation menu with items like '地区概要', '委員会', 'クラブ一覧', '行事予定', 'お知らせ', 'リソース', 'ロータリーとは', and 'お問い合わせ'. The '委員会' (Committee) dropdown menu is open, showing a list of committees. A red arrow points to the '補助金委員会' (Grants Committee) option. The main content area features the text '国際ロータリー 第2750地区' and a brief description of the district's mission. The footer shows the URL 'https://rid2750.org/rotaryfoundation/補助金委員会/'.

ロータリーレート： 2026年1月 1ドル = 156円

Rotary 第2750地区

地区概要 ▾ 委員会 ▾ クラブ一覧 行事予定 お知らせ リソース ロータリーとは お問い合わせ

ガバナー月信

会員委員会

奉仕プログラム委員会

公共イメージ委員会

ロータリー財団委員会 ▾

ロータリーファミリー支援委員会

ローターアクト委員会

青少年交換委員会

RYLA委員会

資金推進委員会

補助金委員会

ポリオ・プラス委員会

奨学学友VTT委員会

ロータリー平和フェロシップ委員会

補助金委員会をクリック

国際ロータリー 第2750地区

私たちは、東京南部・パシフィックベイスングループです。

ロータリーは、さまざまな国や文化、職業のリーダーであり、交流を通じてアイデアを広げ、世界中の地域に貢献するために行動しています。

https://rid2750.org/rotaryfoundation/補助金委員会/

プルダウンメニューから 委員会＞ロータリー財団委員会＞補助金委員会

2750地区 - 検索

補助金委員会 - 国際ローター第2750地区

←

↺

🏠

🔒

🔍

🗑️

⋮

☆

🔥

⚙️

☆

👤

⋮

🗨️

チャット

https://rid2750.org/rotaryfoundation/補助金委員会/

ロータリーレート： 2026年1月 1ドル = 156円

Rotary

第2750地区



地区概要

委員会

クラブ一覧

行事予定

お知らせ

リソース

ロータリーとは?

お問い合わせ



ロータリー財団委員会 補助金委員会

14:50にリセットされました。接続できることを確認しました。(2025年9月19日)

オンライン申請システムに接続できない状況です

9月16日頃よりオンライン申請システムに接続できないとの報告をいただいております。現在も接続できません。システム管理者に連絡済みです。リセットを依頼するとともに原因を究明いたします。なお、接続不能のために報告書期限が遅れた場合は不問いたします。ご迷惑をおかけして申し訳ございません。

(2025年9月19日)

2025-26年度地区補助金を支給しました

日本国内クラブから申請いただいた地区補助金の振込作業が本日までに完了しました。承認番号末尾にAの付くクラブには80%の減額支給になっております。金額に間違いがないかご確認を宜しくお願いします。(2025年8月18日)

今年度用システム



地区概要 ▾ 委員会 ▾ クラブ一覧 行事予定 お知らせ リソース ロータリーとは お問い合わせ

2025.4.1

●2025-26年度 地区補助金オンライン申請URL

2025年4月のロータリーレートは1ドル150円です。3月と変更ありません。為替レートが確定したので申請書を提出することができます。本日確認された問題は、①二つのクラブのIDとPWが認識されないケースがありました。②申請フォームの上部に「保存」ボタンが無い状態でした。③チェックリストの項目1と項目3の年度が昨年度のままでした。①②③はすべて解決済みです。①について、お知らせしたIDとPWを使っても接続できない事例がありました。専門家対応になりますので補助金委員にご連絡ください。(2025年4月1日)

オンライン申請の開始予定について

地区補助金申請システムの利用は2025年4月1日の午前9時から開始いたします。このページにオンライン申請URLを掲載します。システムに接続できない問題は昨日正午までに解決しています。サーバーの改修を行い現在安定に稼働しています。(2025年3月31日)

オンライン申請システムにアクセスできない状況です

昨日の正午頃から午後4時頃にかけて接続できない状態でした。その後復旧したのですが、現在(9:45)再び接続できない状態です。複数のロータリークラブよりお問い合わせをいただきました。ご不便をかけて申し訳ありません。サーバーの容量拡大により解決を図っていますが現在作業中です。夜間は比較的接続ができるようですので時間差でのご利用をお勧めいたします。(2025年3月27日)

アクセス集中によるサーバーダウンが発生しました

3月25日午前中にアクセス集中を原因とするサーバーダウンが発生して接続できなくなりました。現在は復旧しています。今後、3月末～4月上旬に再度接続できなくなる可能性があります。時間をずらしての利用をお願いします。原因を究明し改善できないか調査検討いたします。(2025年3月25日)

補助金委員会より地区補助金申請についてのお知らせ

※申請期間は、4/1より5/31となります。予算が無くなり次第終了します。

※各クラブ事務局宛てに個別にオンライン申請システムの利用IDパスワードを連絡開始しました。オンライン申請システム入力テストサイトは昨年度のIDパスワードで使用できます。※オンライン申請システムは4/1より稼働しますが、申請提出(保存)はロータリーレートが、4月のレートかどうか確認してからにしてください。ロータリーレートはシステム管理者が登録します。受付開始時点では3月のレートが登録されます。4月のレートが発表され次第システムを更新いたします。更新前にインプットしたデータが消えることはありません。ドル換算の金額が変わります。(2025年3月21日)

●2025.2.7

●2025-26年度 補助金管理セミナーのパワーポイントをアップロードしました

4月に
オンライン申請URLがUPされます



にも接続できない事例がめつました。等門家対心になつたので補助金委員に連絡したさい。(2025年4月1日)

オンライン申請の開始予定について

地区補助金申請システムの利用は2025年4月1日の午前9時から開始いたします。このページにオンライン申請URLを掲載します。システムに接続できない問題は昨日正午までに解決しています。サーバーの改修を行い現在安定に稼働しています。(2025年3月31日)

オンライン申請システムにアクセスできない状況です

昨日の正午頃から午後4時頃にかけて接続できない状態でした。その後復旧したのですが、現在(9:45)再び接続できない状態です。複数のロータリークラブよりお問い合わせをいただきました。ご不便をかけて申し訳ありません。サーバーの容量拡大により解決を図っていますが現在作業中です。夜間は比較的接続ができるようですので時間差でのご利用をお勧めいたします。(2025年3月27日)

アクセス集中によるサーバーダウンが発生しました

3月25日午前中にアクセス集中を原因とするサーバーダウンが発生して接続できなくなりました。現在は復旧しています。今後、3月末～4月上旬に再度接続できなくなる可能性があります。時間をずらしての利用をお願いします。原因を究明し改善できないか調査検討いたします。(2025年3月25日)

補助金委員会より地区補助金申請についてのお知らせ

- ※申請期間は、4/1より5/31となります。予算が無くなり次第終了します。
- ※各クラブ事務局宛てに個別にオンライン申請システムの利用IDパスワードを連絡開始しました。オンライン申請システム入力テストサイトは昨年度のIDパスワードで使用できます。※オンライン申請システムは4/1より稼働しますが、申請提出(保存)はロータリーレートが、4月のレートかどうか確認してからにしてください。ロータリーレートはシステム管理者が登録します。受付開始時点では3月のレートが登録されます。4月のレートが発表され次第システムを更新いたします。更新前にインプットしたデータが消えることはありません。ドル換算の金額が変わります。(2025年3月21日)

●2025.2.7

●2025-26年度 補助金管理セミナーのパワーポイントをアップロードしました

2025.2.6

●2025-26年度 オンライン申請URL(入力テスト用)

- ※申請の入力テスト用です。ご自由にお使いください。
- ※本番環境へはデータは移行されません。

2月下旬に
オンライン申請シミュレーションがUPされます



RID2750ロータリー財団 補助金委員会



2025-26年度 DG申請書・報告書データベース

申請書の新規作成

※申請書の新規作成時のみ
(作成後は下記のボタンで編集)

申請書の編集/ 報告書の作成と編集

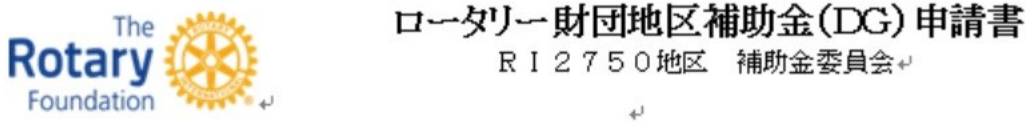
ここをクリック

編集/開く

保存

閉じる

アクセス者：Nobuya Takai／
●ユーザデータ作成日：2026/02/01 10:20:12／ ●ユーザ最終保存日：2026/02/01 10:20:12 提出完了日：



▼ 申請書

status				
--------	--	--	--	--

承認番号：

申請書

2025-26年度地区補助金申請用（2025年4月1日～5月31日）

Nobuya Takai 提出日（自動記録）：2026/02/01 10:20:12 ユーザ入力提出日： ※日付は年/月/日の形式でご入力ください

ロータリークラブ	グループ： <input type="text"/> *選択してください* クラブ名： <input type="text"/> *選択してください* 担当委員：自動入力されます
プロジェクト名	<input type="text"/>
実施場所	<input type="text"/>
期間（西暦）	予定開始日： <input type="text"/> ～ 予定終了日： <input type="text"/> ※日付は年/月/日の形式でご入力ください

acj.ne.jp:2750/dg2750-202526-1

acj.ne.jp:2750/dg2750-202526-test.nsf/f9dea80dcc9fae144925844e003685d1?OpenForm

編集/開く

保存

閉じる

アクセス者：Nobuya Takai／

●ユーザデータ作成日：2026/02/01 10:20:12／●ユーザ最終保存日：2026/02/01 10:20:12 提出完了日：

The Rotary Foundation

ロータリー財団地区補助金(DG)申請書

R 1 2 7 5 0 地区 補助金委員会

申請書

status

承認番号：

申請書

2025-26年度地区補助金申請用 (2025年4月1日~5月31日)

Nobuya Takai 提出日 (自動記録)：2026/02/01 10:20:12 ユーザ入力提出日： ※日付は年/月/日の形式でご入力ください

ロータリークラブ	グループ： <div>*選択してください*</div>	クラブ名： <div>*選択してください*</div>	担当委員：自動入力さ
プロジェクト名			
実施場所			
期間 (西暦)	予定開始日	~	予定終了日 ※日付は
	年/月/日の形式でご入力ください		

今年度は5月15日までです

期間は2026/8/1~2027/4/30までの間です

acj.ne.jp:2750/dg2750-202526-1

保護されていない通信 acj.ne.jp:2750/dg2750-202526-test.nsf/f9dea80dcc9fae144925844e003685d1?OpenForm&Seq=2#_RefreshK...

編集/開く

保存

閉じる

アクセス者：Nobuya Takai／

●ユーザデータ作成日：2026/02/01 10:38:24／ ●ユーザ最終保存日：2026/02/01 10:38:24 提出完了日：

The Rotary Foundation

ロータリー財団地区補助金(DG) 申請書

R I 2 7 5 0 地区 補助金委員会

申請書

status

承認番号：

申請書

2025-26年度地区補助金申請用（2025年4月1日～5月31日）

Nobuya Takai 提出日（自動記録）：2026/02/01 10:38:24 ユーザ入力提出日：

※日付は年/月/日の形式でご入力ください

ロータリークラブ	グループ： <div>多摩中G</div>	クラブ名： <div>東京小金井さくらRC</div>	担当委員：上原、興水
プロジェクト名	<div>小金井市内の小学校への図書寄贈プロジェクト</div>		
実施場所	<div>本町小学校、緑小学校、南小学校</div>		
期間（西暦）	予定開始日： <div>2027/1/1</div> ～ 予定終了日 <div>2027/1/31</div> ※日付は年/月/日の形式でご入力ください		

acj.ne.jp:2750/dg2750-202526-1

保護されていない通信 acj.ne.jp:2750/dg2750-202526-test.nsf/f9dea80dcc9fae144925844e003685d1?OpenForm&Seq=2#_Refr...

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何をしますか。

2. このプロジェクトの恩恵を受ける人々の数はどのくらいですか。(ロータリアン以外)

3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けますか。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加する予定ですか。

5. これらのロータリアンは何を行いますか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも2つ挙げてください。

6. このプロジェクトを実施することにより地域社会に対してどのような長期的影響が期待できますか。

7. 協力団体が関与している場合

収支予算書 使用通貨＝ JPY ⑨ ※計算処理結果は一度「保存」してください。

収入源	通貨	金額
1. 地区補助金申請額		0
2. クラブ拠出金		0
3. その他の資金（具体的に記入）		0
		0
		0
		0
		0
プロジェクトのための収入合計額		0

財団ハンドブックを確認し、必要な補助金額を入力

クラブ拠出金を入力

収入合計を確認

支出（具体的にお書きください。） 使用通貨 JPY ⑨ 為替レート 110 * 4月のレート

予算項目	業者名	通貨	金額
1.			0
2.			0
3.			0
4.			0
5.			0
6.			0
7.			0
8.			0
9.			0
10.			0
11.			0
12.			0
13.			0
14.			0
15.			0
16.			0
17.			0
18.			0
19.			0
20.			0
プロジェクト支出合計額			0
プロジェクト総予算（U S \$ 換算）		U S \$	0.00

見積書に相当する予算項目を入力

支出合計を確認

19.				0
20.				0
プロジェクト支出合計額				0
プロジェクト総予算（US\$換算）			US\$	0.00

●補助金振込口座情報（専用口座をご記述ください）

銀行名		支店名		口座番号		口座種別	普通
口座名義				口座フリガナ			

専用口座の情報を入力

●プロジェクト連絡担当者：補助金の管理を行うロータリアンを2名記載して下さい。

連絡担当者名		クラブでの役職	
E-mail		電話番号	
連絡担当者名		クラブでの役職	
E-mail		電話番号	

クラブ担当者の情報を入力

クラブ担当者の情報を入力

●ロータリークラブ会長、クラブ財団委員長として本プロジェクトの実施決定を確認し、記名をお願い致します。

クラブ会長氏名		確認日	
クラブ財団委員長氏名		確認日	

クラブ会長、財団委員長の情報を入力

●アップロードファイル

ファイルを選択

※必須

必須の資料を添付する
添付書類は冒頭に「申請」と明記

※アップロードを行ったら、下記にチェックを入れてください。また、ファイル名の先頭に「申請」と入れてください。

①見積書（必須）

②補助金専用口座通帳コピー（必須）

③受益者資料

④参加団体資料

⑤その他

添付後、確認のため①～⑤をチェック

※アップロードファイルは、画面の一番下に表示されます。

●チェック項目

※下記の各項目を確認し、該当する項目で「○」を選択してください。

①2021-22年度に地区補助金（DG）を使用した場合、その報告書は提出済みである	
②見積書の宛先はクラブ名になっている。	
③2022年5月のロータリーレートを記入している。	
④開始日～終了日は8月1日～翌年4月30日の範囲である。	
⑤合同プロジェクトを除き、同年度中の申請はこの1件だけである	
⑥受益者が団体の場合、概要が知れる資料（パンフレットなど）を添付してある	

※アップロードファイルは、画面の一番下に表示されます。

●チェック項目

※下記の各項目を確認し、該当する項目で「○」を選択してください。

①2021-22年度に地区補助金(DG)を使用した場合、その報告書は提出済みである	- ⑥
②見積書の宛先はクラブ名になっている。	- ⑥
③2022年5月のロータリーレートを記入している。	- ⑥
④開始日～終了日は8月1日～翌年4月30日の範囲である。	- ⑥
⑤合同プロジェクトを除き、同年度中の申請はこの1件だけである	- ⑥
⑥受益者が団体の場合、概要が知れる資料(パンフレットなど)を添付してある	- ⑥
⑦補助金管理口座は専用口座であり、残高はゼロ残0残となっている。	- ⑥
⑧前年度と異なるプロジェクトである。また受益者も異なるプロジェクトである。	- ⑥
⑨受益者は、ロータリアン、その親族、関係者以外の者になっている。	- ⑥
⑩プロジェクトには、募金活動(チャリティ活動、資金集め等)を含んでいない内容の申請である。	- ⑥
⑪プロジェクトに関わるロータリアンの経費(交通費、入場料、食費等)は見積から除外されている。	- ⑥
⑫支出先業者にロータリアン及びその家族の経営又は勤務する会社等を含まない。	- ⑥
⑬プロジェクト広報のための経費は見積もりから除外されている。	- ⑥

全て「○」になるように
申請作業の確認をしてください

●すべての必要情報が揃いましたら、下記の「提出」を選択して保存してください。

未提出 ⑥ 「提出」を選択し、画面のトップへ移動します

※保存ボタンは、画面のトップにあります。

●クラブ様と担当委員とのやりとりには、下記をご利用ください。

担当委員とのメモ欄としてご活用ください

ただしアナウンス機能がありませんので、
連絡についてはメールでお知らせください

※やりとりの日付をご記入ください。

▽ 報告書

acj.ne.jp:2750/dg2750-202526-1

保護されていない通信 acj.ne.jp:2750/dg2750-202526-test.nsf/f9dea80dcc9fae144925844e003685d1?OpenForm&Seq=2#_RefreshK...

編集/開

保存

閉じる

アクセス者：Nobuya Takai／

●ユーザデータ作成日：2026/02/01 10:38:24／ ●ユーザ最終保存日：2026/02/01 10:38:24 提出完了日：

The Rotary Foundation

ロータリー財団地区補助金(DG)申請書

R I 2 7 5 0 地区 補助金委員会

▼ 申請書

status

承認番号：

申請書

2025-26年度地区補助金申請用（2025年4月1日～5月31日）

Nobuya Takai 提出日（自動記録）：2026/02/01 10:38:24 ユーザ入力提出日：

※日付は年/月/日の形式でご入力ください

ロータリークラブ	グループ： <div>多摩中G</div>	クラブ名： <div>東京小金井さくらRC</div>	担当委 員：上原、輿水
プロジェクト名	<div>小金井市内の小学校への図書寄贈プロジェクト</div>		
実施場所	<div>本町小学校、緑小学校、南小学校</div>		
期間（西暦）	予定開始日： <div>2027/1/1</div> ～ 予定終了日： <div>2027/1/31</div> ※日付は年/月/日の形式でご入力ください		



RID2750ロータリー財団 補助金委員会



2025-26年度 DG申請書・報告書データベース

申請書の新規作成

※申請書の新規作成時のみ
(作成後は下記のボタンで編集)

申請書の編集/ 報告書の作成と編集

ここをクリック



この表記順序は「グループ別」です。
ここを切り替えることで申請順（時間順）に変わります

戻る 進む 展開 省略 検索

グループ別-クラブ 補助金入り

グループ名	クラブ名	承認番号	開始日	終了日	クラブ補助金額	補助金合計	提出	審議中	仮承認	承認
	東京三鷹RC	25-25	2025/09/01	2026/04/30	770000		提出済			承認
	東京小金井さくらRC	25-01	2025/08/01	2026/04/30	300880		提出済	審議中	仮承認	承認
	東京昭島RC	25-60A	2025/08/01	2026/01/31	495000		提出済			承認
	東京国分寺RC	25-20	2025/12/06	2025/12/06	495000		提出済			承認
	東京井の頭RC	25-26	2025/08/25	2025/08/27	495000		提出済			承認
	東京小金井RC	25-41	2025/08/01	2026/03/31	495000		提出済	審議中		承認
	東京国立RC	25-32	2025/08/01	2026/03/31	250000		提出済			承認
	東京国立白うめRC	25-48	2025/08/01	2026/04/30	375000		提出済			承認
	東京立川こぶしRC		2025/10/01	2025/12/30	0					
	東京立川こぶしRC	25-54A	2025/10/01	2025/12/30	495000		提出済			承認
▼多摩東G						2,385,434				0
	東京武蔵府中RC	25-12	2025/11/16	2025/11/16	375000		提出済	審議中		承認
	東京調布RC	25-13	2025/12/16	2025/12/17	495000		提出済	審議中		承認
	東京府中RC	25-36	2025/09/01	2026/03/26	113520		提出済	審議中		承認
	東京iシティRC	25-37	2025/10/25	2025/10/26	186914		提出済	審議中		承認
	東京多摩RC	25-62A	2025/08/01	2025/12/31	225000		提出済			承認
	東京調布むらさきRC	25-56A	2025/08/01	2026/03/31	495000		提出済	審議中		承認
	東京たまがわRC	25-59A	2025/11/29	2025/11/29	495000		提出済	審議中		承認
▼多摩南G						4,455,221				0
	東京八王子南RC	25-06	2025/10/18	2025/10/18	495000		提出済	審議中		承認
	東京八王子北RC	25-08	2025/10/04	2025/10/05	495000		提出済	審議中		承認
	東京飛火野RC	25-15	2025/10/26	2025/10/26	416680		提出済	審議中		承認
	東京野田東RC	25-18	2025/08/01	2026/03/31	375000		提出済	審議中		承認

所属するクラブを選択

acj.ne.jp:2750/dg2750-202526.r

保護されていない通信 acj.ne.jp:2750/dg2750-202526.nsf/5f1178c067decf564925870b00382263/0d299af8a49725f349258c5f0041be02?OpenDocument

編集/開く保存閉じる

申請書編集時は、「編集／開く」を選択以後、
一時保存、提出の際も、常に「保存」を選択してください

アクセス者：Nobuya Takai

●ユーザデータ作成日：2025/04/01 20:58:04／●ユーザ最終保存日：2025/04/03 16:36:43 提出完了日：2025/04/03 16:36:43

The Rotary Foundation

ロータリー財団地区補助金(DG)申請書

R I 2 7 5 0 地区 補助金委員会

クラブ名が表記されます

申請：受益者.pdf 申請：見積書.pdf 申請：通帳.pdf

申請に必要な添付書類は、
必ずファイル名を「申請： 」として下さい

例えば
申請：専用口座（通帳、表紙）
申請：見積書

* ファイル形式はPDFのみ
* 関連する書類は、なるべく一つにまとめて添付して下さい

オンライン申請開始までのスケジュール

- ◆ 2月2日 補助金管理セミナー
- ◆ 2月下旬 クラブIDとパスワードを配布
本マニュアルを補助金ページにUP
オンライン申請シュミレーション版利用可
- ◆ 4月1日午前 2026-27年度オンライン申請開始

2025-26年度 補助金管理セミナー

グローバル補助金について(GG)

2026年2月2日



後藤 康之 委員／東京米山友愛RC

次のいずれかに該当するクラブは、
補助金支給の対象外とします

- 3年前の年次基金への
一人あたりの**平均寄付額が0円**だった
- 2026-27年度の**補助金管理セミナー**を欠席した
- 2026-27年度に**地区とのMOU**を締結していない

グローバル補助金(GG)とは

- ローターリーの7つの重点分野に該当する活動
- 持続可能な成果をもたらす活動
- 測定可能な成果をもたらす活動
- 予算額30,000ドル以上の大規模なプロジェクト
- 海外のパートナークラブと協同

以上に該当する人道的なプロジェクトを支援します

＊ただし補助金委員会の担当分

GGの対象となるプログラムの条件

1) 7つの重点分野に関連した人道的プロジェクト

- ・平和構築と紛争予防
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛生
- ・母子の健康
- ・基本的教育と識字率向上
- ・地域社会の経済発展
- ・環境の保全

2) 事前調査によるニーズの証明

地域のニーズを正確にかつ具体的に
証明するための事前調査を行う

3) 持続可能なプロジェクト

補助金終了後も地域社会の人々が自力でニーズに
取り組めるよう支援することによって長期的な解決策をもたらす

4) 測定可能なプロジェクト

評価に用いる基本データを記録し、少なくとも3年間、
どのような変化がもたらされたかを具体的に示せる

5) 報告書

プロジェクト期間は1年以上でも問題ないが、

12ヶ月毎に中間報告書を提出する必要あり

最終報告書はプロジェクトは終了後2ヶ月以内に提出

6) 「ロータリー財団地区補助金と

グローバル補助金授与と受諾の条件」を遵守

7) プロジェクト総額が30,000ドル以上

GG補助金額と予算イメージ

2つの
補助金

地区財団活動資金(DDF)だけでなく
国際財団活動資金(WF)からも、
プロジェクト予算として使用できます

試算例

援助国側クラブとして3,000ドルを拠出すると、
地区財団活動資金(DDF)より15,000ドル(最大5倍より)、
国際財団活動資金(WF)より12,000ドル(DDFの80%)、
プロジェクト合計額は30,000ドルとなります

GGの申請について

My Rotaryからログインし、**オンラインで申請**します

①参加する→②補助金センター→③補助金の申請と進み、
④グローバル補助金を選択

「グローバル補助金 オンライン申請手続き」に申請内容の詳細が記載されています

地区DDFを使用する場合はオンライン申請を行い、
申請データをPDF化して、補助金委員会にDDF申請し、
承認を得てください

ガバナー、ロータリー財団委員長の署名が必要です

オンライン申請は、クラブの**プロジェクト担当者**が直接入力し、**パートナークラブ**や**TRF担当者**とやりとりする必要があります

GG申請@My Rotary

には、手助けしてくれるリソースと参考資料があります！

リソース＆参考資料

- グローバル補助金ガイド (PDF)
- 地域調査の方法 (PDF)
- 協力団体の覚書 (ワード)
- グローバル補助金 小口融資プロジェクトに関する補足書式 (ワード)
- グローバル補助金申請のテンプレート (ワード)
- グローバル補助金 計算表 (XLS)
- グローバル補助金 地域社会調査の結果フォーム (ワード)
- グローバル補助金 モニタリングと評価の計画 (PDF)
- グローバル補助金 小口融資プロジェクト報告書の補足書式 (ワード)
- グローバル補助金 奨学金の補足資料 (PDF)
- ローターアクトターによるロータリー補助金の利用：よくある質問
- 補助金センターのご利用ガイド (PDF)
- 補助金センターのご利用ガイド：グローバル補助金奨学生 (PDF)
- 補助金による旅行に関する情報
- グローバル補助金の流れ
- 持続可能なプロジェクトの立案6つのステップ (PDF)
- ロータリー財団 グローバル補助金 授与と受諾の条件 (PDF)
- グローバル補助金 研修計画 (ワード)
- 職業研修チームの日程表 (ワード)
- 職業研修チーム：メンバー申請書 (ワード)

重点分野のリソース

- 重点分野の基本方針 (PDF)
- 「基本的教育と識字率向上」グローバル補助金 授与のガイドライン (PDF)
- 「疾病予防と治療」グローバル補助金 授与のガイドライン (PDF)
- 「地域社会の経済発展」グローバル補助金 授与のガイドライン (PDF)
- 「母子の健康」グローバル補助金 授与のガイドライン (PDF)
- 「平和構築と紛争予防」グローバル補助金 授与のガイドライン (PDF)
- 「水と衛生」分野のグローバル補助金 授与のガイドライン (PDF)
- 「環境」グローバル補助金 授与のガイドライン (PDF)

ツール

- 補助金の申請プロセスを始める
- フォーラムで世界中のロータリアンとつながろう
- ロータリー補助金担当職員 (PDF)



目次

はじめに 活動の種類 グローバル補助金の要件 クラブの資格認定	4
1 長期的な影響をもたらす 持続可能性 地域社会のニーズと強み 重点分野：真の変化をもたらすために	8
2 パートナーシップで最大の効果を生む パートナーシップの要件 提唱者の役割 協力団体	14
3 プロジェクトを立案する プロジェクト計画を立てる 測定可能な目標を定める 財務管理計画を作成する 資金を調達する	17
4 補助金を申請する はじめよう 補助金の対象とならないプロジェクト	24
5 プロジェクトを実施、モニタリング、評価する プロジェクトを実施する モニタリングと評価 財務の透明性 審査、視察、監査	28
6 中間報告と最終報告 報告要件	35
7 サポートを得る	37

GGの特徴

地域から世界へ より大きなインパクトを!

DG(地区補助金)は、
私たちクラブが拠出する資金(0円～)や補助金(2,000～5,000ドル)を
利用して、所属する地域の奉仕活動に使用します

GG(グローバル補助金)は、
私たちクラブが拠出する資金(3,000ドル～)や補助金(27,000ドル～)を
利用して、7つの重点分野、大きな資金規模、海外クラブとの協同により、
私たちの行く事の出来ない場所で、実施する事の出来ない奉仕活動に使
えます

GGの申請受付期間

今年度のDDF申請受付期間

2026年 3月1日～2027年 1月31日

随時受付ですが、DDF予算額に達した時点で終了します

最後に、

GGは、クラブとTRFとの直接のやりとりになりますが、
補助金委員会では申請から終了までをサポートします

計画の早い段階でご相談ください

グローバル補助金の流れ

申請

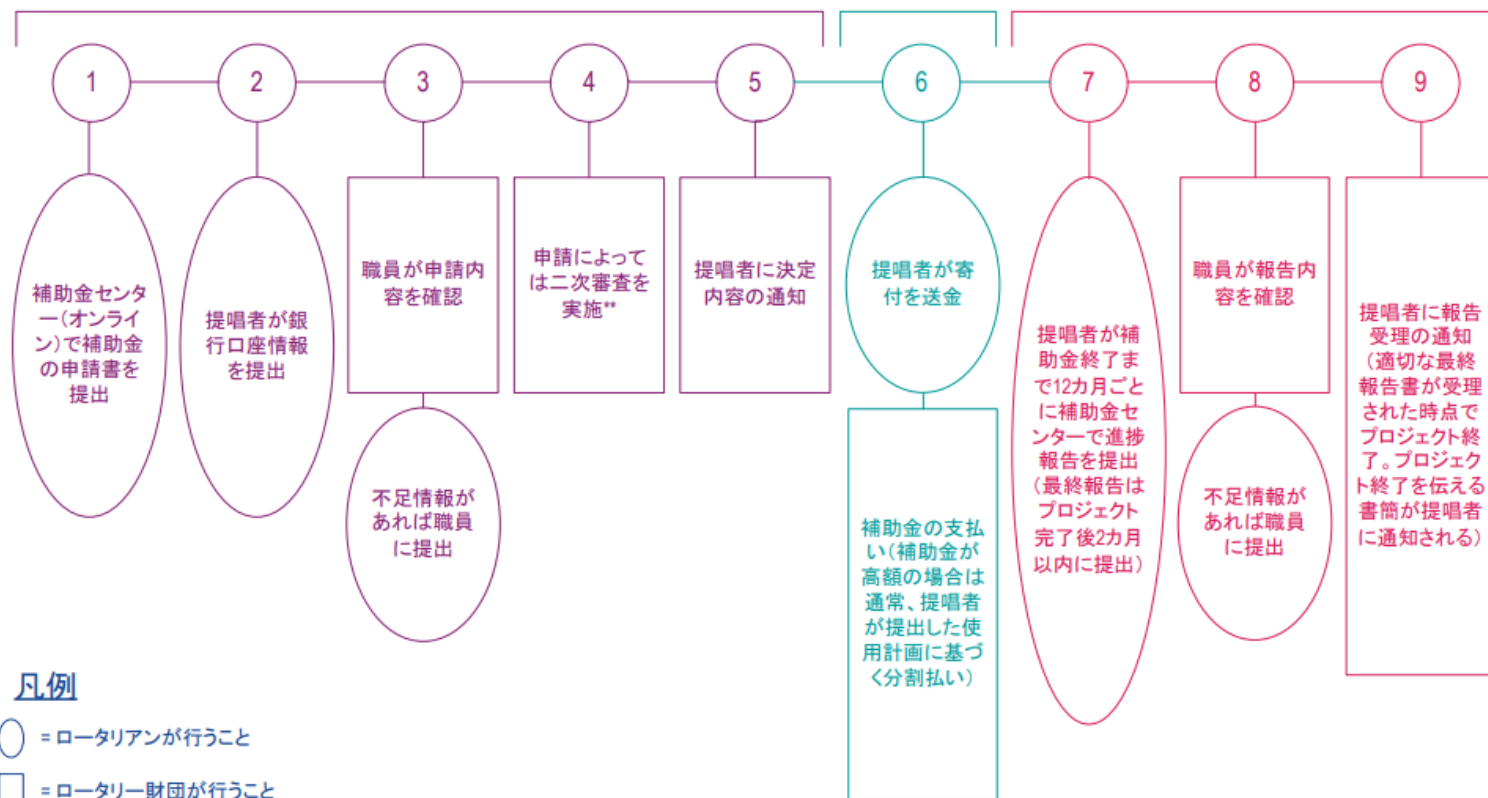
不備のない申請書をロータリー財団が受理した場合、申請書の受理から承認までに約4週間かかります。*

支払い

ロータリー財団が現金寄付を受理した時点から、補助金の支払いまで約2~4週間かかります。*

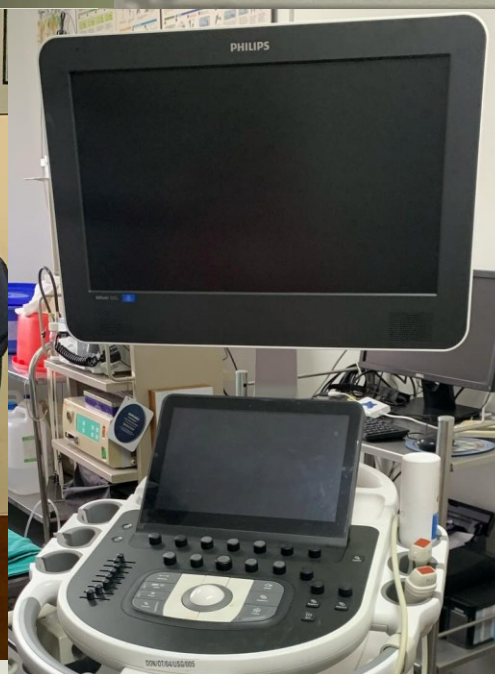
報告

ロータリー財団が報告を受理してから8週間以内に、先着順で職員が内容を確認します。*



* 申請が集中する時期は、さらに日数がかかる場合があります。

** 上乗せ額が50,000ドルを超える申請は、ロータリー財団専門家グループによる審査が行われ、200,000ドルを超える場合は、財団管理委員会による審査が行われます。



GGの プロジェクト 例・写真

GGを進める上で重要な点

東京米山友愛ロータリークラブのGG実績
計5件実施済(ここ4年は毎年)

- 1)2750地区のGGは恵まれている、と理解する
→他地区よりもレバレッジが効く、大型PJに挑みやすい
- 2) 国境を越えて信頼でき、共にPJへ取り込めるクラブを探す
(一番重要！)
→姉妹・友好クラブに限らず、先方の実行力も重要
- 3) 信頼できるクラブと一緒にできるPJは元々人気PJ
→コミュニケーションの密度以外にも、申請進捗スピードも重要
- 4) より対面で交流機会を積極的に持ち、関係を深める
→国際大会での交流に加え、実際に他RCの現地訪問を続ける

財団資金管理委員会

2026-27年度委員長 大塚豊嗣(東京立川RC)

財団資金管理委員会の役割

- ◆ 地区とクラブとの間で締結した覚書(MOU)の管理
- ◆ 地区補助金(DG)の報告書のチェック

地区の覚書 (MOU)

- MOUは補助金(GG/DG)を適正に使用するという誓約書
- 補助金管理セミナーの受講が必修条件
- 参加資格は1年毎に更新されるため、毎年提出が必要
(提出期限:2026年3月31日(火))
- 原本郵送(2750地区ガバナー事務所宛)が原則ですが、PDFファイルでのメール提出も可能です。
- MOU送付先アドレス: 2750mou@gmail.com
- メールでご提出いただいた場合は、MOUの原本は各クラブで保管してください。

MOUを締結するための条件

- ◆ 補助金管理セミナーに参加すること
- ◆ MOUを理解して会長エレクト(2026-27年度会長)及び会長ノミネー(2027-28年度会長)が署名して提出すること
- ◆ MOUのコピーは5年間保管すること
- ◆ 補助金資金の使用に関しては、クラブが責任をもって管理すること
- ◆ 財団資金管理委員会の監査に協力すること

MOU提出

◆ 提出用のMOU (本日配布しています)

提出用

承認と同意

別紙の覚書（MOU）は、クラブと地区の間に交わされる同意書であり、補助金活動の適切な管理と財団補助金資金の適切な管理を行うための措置をクラブが取ることを認めるものである。この文書を承諾することにより、クラブは、別紙の覚書（MOU）に記載されたすべての条件と要件（1. クラブの参加資格、2. クラブの役員の責務、3. 財務管理計画、4. 銀行口座に関する要件、5. 補助金資金の使用に関する報告、6. 書類の保管、7. 補助金資金の不正使用に関する報告）に従うことに同意する。

_____グループ

_____（ロータリー/ローターアクト）クラブを代表し、下記署名人は、2026 - 27 ロータリー年度、別紙の覚書（MOU）に記載されたすべての条件と要件に従い、これらの要件に関してクラブの方針や手続きに変更や修正があった場合には、国際ロータリー第 2750 地区に通知することに同意する。

2026-27 年度クラブ会長

氏 名	
署 名	
日 付	年 月 日

2027-28 年度クラブ会長

氏 名	
署 名	
日 付	年 月 日

※原本を以下に郵送（各クラブで控コピーを保管。郵送の場合はメール送信不要）

郵送先：国際ロータリー第 2750 地区 ガバナー事務所宛

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階

※郵送する代わりに PDF ファイルを 2750mou@gmail.com 宛に提出することも可

締結する為の禁止事項

- ◆ 不正・偽造・会員情報の改ざん・重大な過失・不適切な行為・報告書の偽造・認められていない補助金資金使用等については参加資格が取り消される場合があります。補助金も返金対象となります
 - ・ 未使用の補助金の承認外使用
 - ・ 本来の目的と違う補助金使用
 - ・ ロータリアンの経費
 - ・ 他団体が行う事業への資金提供

クラブ会長の責務

- ◆ 補助金が適切な管理において使用されるようにしてください
- ◆ 補助金に関与する(受益者・物資調達先等)すべての人がロータリアン及びロータリアンの家族・関係者であると認識される事態を避けるよう活動してください
- ◆ 申請書に記載した内容以外の目的で補助金を使用しないようにしてください

補助金の管理

- ◆ 自クラブ宛の領収書のコピーの提出をして頂きます(領収書が提出できないときは、請求書と振込用紙)
- ◆ 当該年度0円から始まり0円で終わる専用口座の通帳のコピーを提出して頂きます
- ◆ 資金のやり取りはすべて専用口座を使用して行って頂きます(条件を満たす場合には、ロータリーカードの使用も可)

報告書について

- ◆ 地区が指定する報告書を期日までに提出してください（プロジェクト終了後1か月以内、最終2027年5月31日）
- ◆ その際には補助金申請書・報告書ウェブサイトで指定する必要書類もオンラインでご提出いただきます

監査結果と注意事項

監査による主な発見・指摘事項

- ◆ 補助金受領前の支払であったが、専用口座に仮払金を入金をせず、専用口座を通さずに購入先に支払われていた
- ◆ 申請時の支出額と、報告時の支出額が異なっていたが、補助金委員会への事前相談がなく、理由書も添付されていなかった
- ◆ 見積書や領収書が添付されていない
- ◆ 出納帳の記載と通帳の金額が不一致 など

書類の保管

- ◆ 補助金活動を実施した際は書類（申請・報告書）を10年間保管してください。

補助金不正使用について

- ◆ 地区は各クラブが高潔性をもって資金を使用している事を前提としています。
- ◆ クラブ内にて不正使用に関する管理監督体制を構築して補助金を適切に使用するようになっています。

ご清聴ありがとうございました

資金推進委員会

2026-27年度 委員長 萩 伸雄(東京青山RC)



国際ロータリー第2750地区
2026～27年度 ロータリー財団委員会

財団資金推進委員会

委員長	萩 伸雄
副委員長	堀口 正義
委員	須田 宏樹
同上	岡野 景子
同上	池田 弘市
同上	關 康宏

資金推進委員会

私たちの委員会では、

- ◆ 財団プログラムの主な資金源となる年次基金、恒久基金、ポリオプラス基金の地区目標に向けてご寄付をお願いしております。
- ◆ ご寄付を頂きました皆様への認証のお手伝いもさせて頂いております。

各クラブの会長、幹事、財団委員長の方に財団の内容をご理解頂き、
財団委員会の伝道師としてのご協力をお願い申し上げます。

ロータリー財団 寄付の分類

- 年次基金

平和の推進、教育支援、平和推進などの活動

- 恒久基金

恒久基金は元金は維持され、果実たる収益を使用

- ポリオプラス

ポリオ根絶活動の支援

- ロータリー災害救援基金

災害救援、復興活動に使用

- その他の基金

グローバル補助金等への拠出、平和センター指定寄付など

年次基金はシェアシステム※によって、配分されます。

※年次基金を3年間利殖に回しながら、その運用益でロータリー財団を運営していくための資金を確保するシステム。

※財団の年次基金は3年後のプロジェクトに使用されます。

年次基金は、この2つの活動資金にシェアされ、寄付年度の3年後にいろいろなプロジェクトに使われます。

WF (World Fund)
国際財団活動資金

グローバル補助金 (GG) 他



世界中のロータリークラブで使われています。

47.5 : 47.5
シェア

DDF (District Designated Fund)
地区財団活動資金

地区補助金 (DG)
グローバル補助金の地区負担分、
RI第2750地区ロータリー奨学金、ロータリー平和フェローシップ、ポリオ・プラスへの寄付 他



地区内のロータリークラブで使われています。

すべての寄付が、世界中で使われています。
寄付は奉仕に間接的に参加しているということです。

国際ロータリー第2750地区 2026～27年度 寄付金地区目標

①年次基金への寄付

会員1名につき150ドル以上

② 恒久基金への寄付

1000ドルに達する寄付者

会員99名以下のクラブ1名以上

会員100名以上のクラブ2名以上

③ ポリオプラス基金への寄付

会員1名につき30ドル以上

【留意事項】

- ・会員数は期首での会員数となります。
- ・また、寄付時点のロータリーレートにご注意ください。
- ・My Rotaryへクラブ寄付目標の入力をお願いします。

地区表彰

RI第2750地区では、ロータリー財団への寄付について以下の3つの表彰を行います。

- 1) 寄付総額上位 3 位までのクラブ
- 2) 年次基金一人あたりの平均寄付額上位 3 位までのクラブ
- 3) 財団への地区寄付目標 3 部門の達成クラブ
(年次基金、恒久基金、ポリオプラス基金)

ロータリー財団 認証の分類(1)

• ポール・ハリス・フェロー (Paul Harris Fellow PHF)

年次基金、ポリオプラス他に累計1,000ドル以上寄付した方



• ベネファクター (Benefactor)

恒久基金への寄付または誓約額1,000ドル以上の方

• メジャードナー (Bmajor Donor MD)

累積寄付の合計 1万ドル以上で個人または御夫妻に対して

• アーチ・クランフ・ソサエティ (Arch Klumph Society AKS)

累積寄付が 250,000 ドルに達した方をソサエティ会員として迎え入れ、多大な寄付への感謝の気持ちとして認証ピンやペンダントが贈られるほか、米国イリノイ州エバンストンの国際ロータリー本部での入会式への招待等、さまざまな特典及び生涯にわたる資格を得ます。国際ロータリー本部にあるアーチ・クランフ・ソサエティ・ギャラリー(タッチパネル式スクリーン)に肖像写真と略歴が掲載されます。



ロータリー財団 認証の分類(2)

- ポール・ハリス・ソサエティ (Paul Harris Society PHS)

年次基金、ポリオプラス、財団承認の補助金プロジェクトに一括でも合計でも毎年1,000ドル以上の支援をした方



- 遺贈友の会 (Bbequest Society)

遺産計画で10,000ドル相当以上を恒久基金としてご寄付を誓約した個人または夫妻の方

- レガシーソサエティ (Legacy Society)

恒久基金に100万ドル以上の寄付(遺贈)した個人または夫妻の方

クラブに対する認証

- 100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ

正会員全員がポール・ハリス・フェローとなったクラブ。ロータリー財団から1度限りの特別なバナーが贈られます。

- 100%ポール・ハリス・ソサエティ・クラブ

正会員全員が各ロータリー年度に、年次基金、ポリオプラス基金、グローバル補助金プロジェクトのいずれかに 1,000 ドル以上寄付したクラブ。

- 100%財団寄付クラブ

正会員全員が、寄付分類にかかわらずロータリー財団へ寄付をし、一人あたりの平均寄付額が少なくとも100ドルに達しているクラブ。

- 「Every Rotarian, Every Year」／「財団友の会」会員クラブ

正会員全員が年次基金へ 100 ドル以上を寄付したクラブ。

- 年次基金への寄付が上位 3 位のクラブ

各地区で一人あたりの年次基金への寄付額が上位 3 位のクラブ。
一人あたりの寄付額が少なくとも 50 ドルであるクラブが対象となります。

国際ロータリー第2750地区 2026～27年度

補助金管理セミナー

質疑応答



オンライン申請開始までのスケジュール

- ◆ 2月2日 補助金管理セミナー
- ◆ 2月下旬 クラブIDとパスワードを配布
本マニュアルを補助金ページにUP
オンライン申請シュミレーション版利用可
- ◆ 4月1日午前
2026-27年度 オンライン申請開始
5月15日が申請締切日です

決定している予定

◆ 7月27日(月)

補助金実務者講習会

15:00—17:00

AP市ヶ谷会議室 JR市ヶ谷駅

◆ 2027年2月4日(木)

2026-27年度 ロータリー財団セミナー

10:30—12:30

2027-28年度 補助金管理セミナー

14:30—16:30

一橋講堂(一橋大学) 東西線竹橋駅

国際ロータリー第2750地区 2026－27年度

閉会の辞

柳 邦明

地区ロータリー財団副委員長



国際ロータリー第2750地区 2026～27年度

補助金管理セミナーへ
ご出席ありがとうございました。

